

長野県総合5か年計画（仮称）（原案）

『確かな暮らしが営まれる美しい信州』

概要説明資料

平成24年（2012年）12月

長野県

長野県総合5か年計画(原案)の4つのポイント

ポイント1 時代の転換点を強く意識

- 人口減少の本格化など時代が大きな転換点を迎える中で、私たちがめざす「未来の信州」の姿を描き、その実現に向けた方向性や方策を明確化
- 「時代の潮流」と「長野県のポテンシャル」を踏まえ、基本目標「確かな暮らしが営まれる美しい信州」を県民とともに実現

ポイント2 明確な3つの基本方針とプロジェクトによる施策の推進

- 今後5年間の政策推進の基本方針を3つ掲げ、県行政と県民の英知を結集
- 3つの基本方針に基づき、「未来の信州」に向けた先駆的で先導的な取組を、部局横断的な9つのプロジェクトとして推進

ポイント3 県民との共有の目標

- 長野県の未来を担う若者をはじめ多くの県民から5,000件近い意見を聴取し計画に反映
- プロジェクトに32指標、施策の総合的展開に110指標(重複分除き113指標)の数値目標を設定
- 統計指標のみでは把握できない県民の実感についても県政モニター制度を活用して指標化

ポイント4 県民とともに成果を追求

- プロジェクトに、県が行う取組を「アクション」、県民の皆様をお願いしたいことを「県民の皆様へ」として明示し、一緒になって実現
- 責任ある推進体制を構築するとともに、状況の変化に柔軟に対応して新たな取組を検討
- 県民参加の視点を確保した政策評価や事業点検により実効性を確保

はじめに

計画策定の趣旨

私たちは、今、時代の大きな転換点に立ち、
今までの暮らしを見つめ直すとともに
豊かさや幸せの新たな尺度が求められている。
この計画により、長野県の将来像を県民の皆様と共有し、
一緒に創り上げるための方向性や方策を明らかにする。

計画の性格

直面する課題に向き合い、長野県の将来像をめざして確かな
一歩を踏み出す県政運営の基本となる総合計画

計画の期間

平成25年度～平成29年度の5年間



第1編 現状認識

第1章 時代の潮流

1 到来した人口減少社会

今後20年間で約30万人減少

→ 地域社会の活力の低下
高齢者を支えるシステムへの不安

2 価値観の変化

モノの豊かさに加え精神的な満足感や暮らしのゆとりが重視

→ 自然、景観、健康長寿など
長野県の心安らく暮らしが評価

3 成熟した経済

物質的豊かさの実現、人口減少によりかつてのような大幅な経済成長は見込めない

→ アジア新興国の活力の取り込み
新分野への進出と新商品の創出

4 変革が求められる社会システム

高い経済成長を前提に整備・運用されてきた制度の限界

→ 持続可能な財政構造の構築
多様な主体との共創・協働
自然エネルギーの利用の拡大

第1編 現状認識

第2章 長野県のポテンシャル

大地から 与えられた恵み

美しく豊かな自然環境

大都市圏への近さ・交通の結節点



先人が築いてきた たまもの 努力の賜

全国トップレベルの健康長寿

教育を大切にする風土と県民性

伝統・文化を受け継ぐ地域

企業家精神を育む土壌



際立つ 地域の個性

『大地から与えられた恵み』と
『先人が築いてきた努力の賜』
が重なり合った様々な表情を
持つ多様な地域から成り立つ

第2編 長期的な視点に立った長野県の将来像

第1章 「未来の信州」に向けて

量的拡大といった従来の延長線上だけでは新たな課題の解決ができない難しい時代

東日本大震災の発生は、家族や社会とのつながりが重視するとともに、エネルギーなど生活のあり方を見つめ直す契機に

このような時代に、長野県の持つ優れた特徴がさらに輝きを放つ可能性が増大

『信州』の強みを県民一人ひとりが磨き上げることで、世界に通用する新たな価値を創造していくことが可能

人と人、地域と地域のつながり合い、支え合いを大切にしながら、自然や伝統と最先端の技術を調和させて地域のあり様を最適にすることにより、質が高く、持続可能な社会を創造

第2編 長期的な視点に立った長野県の将来像

第2章 基本目標

県民みんなで心を一つにして県づくりに取り組むための目標

確かな暮らしが営まれる美しい信州

「確かな暮らしが営まれる」とは…

明日への希望を持って日々の生活を送ることができ、万一の場合には温かな支援を受けることができるという安心があること。これは、持続可能な共生社会の中で実現

「持続可能」とは：経済・地域が繁栄し、自然や環境はもとより社会保障制度などの社会システム、伝統・文化や農山村の暮らしなど、私たちが大切にすべきものが永続している姿

「共生社会」とは：どんな人にも雇用、社会参加の場があり、人々が支え合いながら、豊かな自然環境とともに暮らしている社会

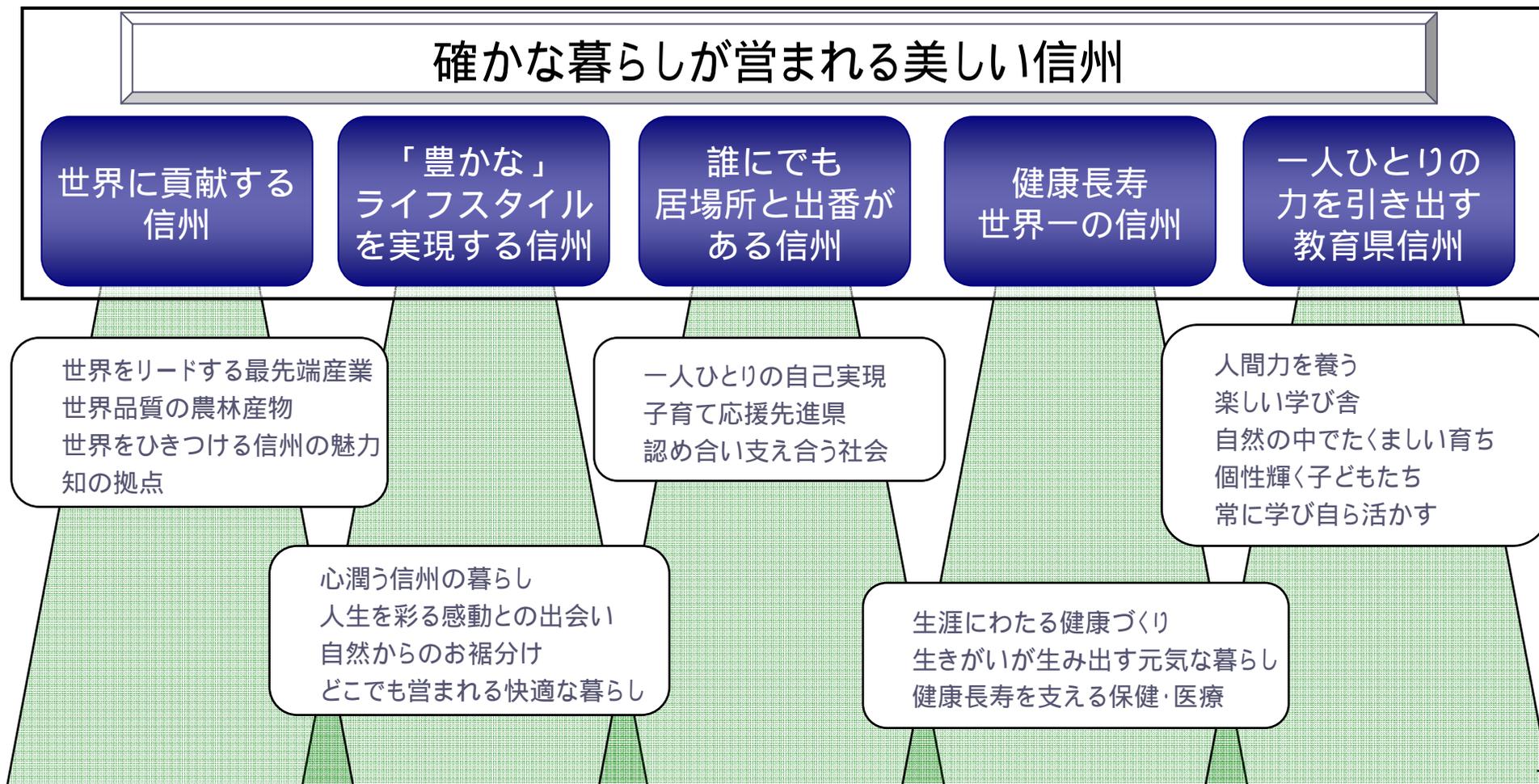
「美しい」とは…

先人によって守り育てられてきた豊かな自然や農山村の原風景・町並みの美しさ
地域に息づく郷土への誇りや絆を大切に
する心の美しさ
子どもから大人まで未来に向かってひた向きに努力している姿の美しさ

第2編 長期的な視点に立った長野県の将来像

第3章 私たちがめざす「未来の信州」の姿

今生まれた子どもたちが大人になる概ね20年後に
私たちが次の世代に引き継ぎたい5つの長野県の姿

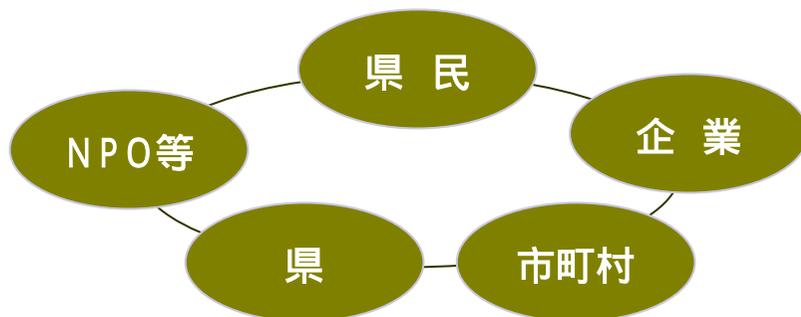


第2編 長期的な視点に立った長野県の将来像

第4章 「未来の信州」を支える仕組み

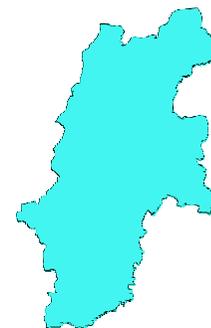
1 分厚い層が支える 共創・協働の社会

地域社会を構成する多様な主体と協働するなど地域を共に創造する仕組みを構築



2 信州独自の自治による 自立度の高い地域

県と市町村、市町村間で相互に連携・補完し合う仕組みなどを検討



3 交流・連携を深める ネットワーク型社会

近隣県や大都市と連携するネットワークを構築
海外との経済交流の拡大

災害対応

観光振興

経済交流

第3編 今後5年間の政策推進の基本方針

着実に取り組むべき施策を進めつつ、次の方針に基づく政策に県行政と県民の英知を結集するとともに、「県民参加と協働」を政策を進める際の基本姿勢とし、その実現をめざします。

方針1

「貢献」と「自立」の経済構造への転換

～信州の強みに立脚した「貢献」と「自立」の経済構造への転換～

技術集積と起業家精神を基礎とした次世代産業の創出
観光と農林業を基礎とした農山村産業クラスターの形成
地勢と知恵を基礎とした環境・エネルギー自立地域の創造

方針2

豊かさが実感できる暮らしの実現

～信州人としての安心・満足・誇りを得られるライフスタイルの促進～

「安心」して暮らすための健康づくりと医療の充実
「満ち足りた」暮らしのための雇用と社会参加の促進
景観・自然・文化に囲まれた「誇り」ある暮らしの実現

方針3

「人」と「知」の基盤づくり

～地域の課題を自ら解決できる「人」と「知」の基盤づくり～

信州を元気にする「活動人口」の増加
良き人生を築き社会に貢献できる人材の育成
県民参加と協働により地域課題を解決する県政の強化

発信

「信州」の価値向上と発信

～信州の強み、信頼性、信州人の誇りなど「信州」の価値を向上させ、統合的に発信～

- ・ 県民総参加による「信州」の誇りある発信と新たな「価値」の創造

第4編 プロジェクトによる施策の推進

1 次世代産業創出プロジェクト

～ 技術集積と起業家精神を基礎とした次世代産業の創出～

長野県の誇る高度な技術集積、信州人の持つ起業家精神を基礎に、健康長寿や自然環境など地域の強みや資源を活かし、成長期待分野への積極的な展開や創業しやすい環境づくり等を推進することにより、次世代の長野県経済を担う産業を創出します。

アクション
1

(成長期待分野への展開支援)

大学等研究機関や企業等との連携を強化し、国内外の需要を取り込むことなどにより、県内産業の成長期待分野(健康・医療、環境・エネルギー、サービス産業など)への展開を支援します。

県民の皆様へ

- ・企業の皆様には、成長期待分野での積極的な事業展開をお願いします。
- ・大学などの研究機関の皆様には、成長期待分野での産業界と連携した研究開発の一層の推進をお願いします。

アクション
2

(戦略的企業誘致と創業促進)

次世代を担う産業集積を図るため、戦略的な企業誘致や「日本一創業しやすい環境づくり」を進めます。

県民の皆様へ

- ・企業や団体の皆様には、企業誘致につながる情報の提供をお願いします。
- ・創業など、新しいことにチャレンジする起業家精神を大切にしましょう。

アクション
3

(産業人材の育成・確保強化)

県外から次世代産業の中心となる人材を招くとともに、職業能力開発の体制を整備することにより、産業人材づくりを進めます。

県民の皆様へ

- ・一人ひとり、自らの職業能力の開発やスキルアップに努めましょう。
- ・企業の皆様には、社員のスキルアップにつながる研修の充実を図るとともに、インターンシップの受入れにもご協力をお願いします。また、児童生徒の職業体験等のキャリア教育への支援をお願いします。

【達成目標】 一人当たりの県民所得 全国第10位以内(H29年度)

創業支援資金利用件数 2,400件(H25～29年度累計) 企業誘致件数 200件(H25～29年累計)

第4編 プロジェクトによる施策の推進

2 農山村産業クラスター形成プロジェクト

～観光と農林業を基礎とした農山村産業クラスターの形成～

山岳や高原、美しい景観、独自の伝統・文化に囲まれた暮らしなどの長野県の強みを活かし、世界水準の山岳高原観光地の形成や来訪者が長野県の日常の暮らしを楽しむことができる観光地域づくり、付加価値の高い農林業の創出と6次産業化などにより、県民の暮らしを支える農山村産業クラスター*を形成します。

アクション
1

(世界水準の山岳高原観光地づくり)

日本一の山岳環境や美しく豊かな農村景観を活かし、世界水準の山岳高原観光地づくりを進めます。

県民の皆様へ

- ・観光関係の皆様はもちろん、県民の皆様も、世界に広く目を向け、地域の環境保全活動や美しい景観づくりなど、ソフト・ハード両面で世界に誇れる観光地づくりの取組をお願いします。
- ・観光関係の皆様は、長野県の強みを活かして、新しい観光需要に対応した商品をつくりましょう。

アクション
2

(県民参加型観光地域づくり)

来訪者が長野県の日常の暮らしを楽しむことができるよう、県民参加による観光地域づくりを進めます。

県民の皆様へ

- ・地域の人同士はもちろん、観光客の皆様に対しても明るい笑顔であいさつし、気持ちのよい地域をつくりましょう。
- ・信州のありのままの生活を観光客の皆様にも楽しんでいただけるよう、自信を持って発信しましょう。
- ・観光関係の皆様は、地域資源を活かした滞在プログラムづくりと提供を、地域の皆様と連携して行ってください。

第4編 プロジェクトによる施策の推進

2 農山村産業クラスター形成プロジェクト

～観光と農林業を基礎とした農山村産業クラスターの形成～

アクション
3

(農林業の高付加価値化)

農山村の暮らしを支える農林業の基盤を強化するとともに、6次産業化の推進やエネルギー施策などとの複合的な施策推進により、農林業の高付加価値化を進めます。

県民の皆様へ

- ・県内で生産された農畜産物及び木材やその加工品を積極的に購入・活用していただくと同時に、県外の皆様にもその素晴らしさをアピールしましょう。
- ・農林業関係の皆様は、技術力や経営力を高めるとともに、加工、販売等にも視点を広げ、6次産業化などにチャレンジしましょう。

【達成目標】

観光消費額 3,300億円 (H29年)
農業農村総生産額 3,050億円 (H29年度)
外国人宿泊者数 50万人 (H29年)
素材生産量 610千m³ (H29年度)

第4編 プロジェクトによる施策の推進

3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト

～ 地勢と知恵を基礎とした環境・エネルギー自立地域の創造～

豊かな水、深い緑、広大な県土など県民の貴重な財産である自然環境・自然資源を守り、活用しながら、地球環境に優しく、水資源や食糧が安定的に確保される自立した地域を創造します。

アクション
1

(省エネルギー化の促進)

地球環境を保全し、限られた資源を有効に活用するため、家庭、事業者、建築物の省エネルギー化を促進します。

県民の皆様へ

・家庭の省エネルギー診断や事業者の温室効果ガス排出抑制に向けた計画書制度などを積極的に活用して、コスト削減にもつなげる省エネルギーに取り組みましょう。

アクション
2

(自然エネルギーの普及拡大)

地域主導型の自然エネルギービジネスの創出により、地域の力、県民の力で、自然エネルギーの普及拡大に取り組みます。

県民の皆様へ

・住宅への太陽光発電の導入や自然エネルギー事業への参画など、それぞれの立場で自然エネルギーの普及拡大に向けた取組に参加しましょう。

アクション
3

(水資源の保全)

信州の豊かな水を将来にわたって享受するため、水資源を保全するための取組を推進します。

県民の皆様へ

・一人ひとりが水を大切に作る心もち、地域で行われる水資源の保全活動に取り組みましょう。
・企業や団体の皆様は、森林(もり)の里親になるなど健全な森林づくりに協力してください。

第4編 プロジェクトによる施策の推進

3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト

～ 地勢と知恵を基礎とした環境・エネルギー自立地域の創造～

アクション

4

(安定的な農業生産の確保)

県民の生きる糧である食を守るため、安定的な農業生産を確保するとともに、地産地消の取組を推進します。

県民の皆様へ

- ・地元で生産された農畜産物を普段から積極的に消費しましょう。
- ・農業者の皆様は、大切な農地を守り続けてください。自ら耕作できないなど農地の利用でお困りの方は、市町村農業委員会などへ相談し、担い手へ農地を引き継いでください。また、経営規模の拡大などに取り組む方は、遊休農地の活用に協力してください。

【達成目標】

発電設備容量でみるエネルギー自給率 70.0% (H29年度)

耕地面積 109,000ha (H29年度)

遊休農地の再生・活用面積 600ha (H29年度)

第4編 プロジェクトによる施策の推進

4 健康づくり・医療充実プロジェクト

～「安心」して暮らすための健康づくりと医療の充実～

県民一人ひとりが長寿かつ健康で生涯にわたりいきいきと暮らせる長野県をめざします。

アクション
1

(健康づくり県民運動の展開)

県民の健康づくりを推進するため、市町村、医師会、医療保険者、健康ボランティアなどが一体となった県民運動を展開します。

県民の皆様へ

- ・「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、健康づくりの県民運動に参加しましょう。
- ・日頃から気軽に楽しめるスポーツへの積極的な取組や健全な食生活の実践など自分の身体状況に応じた生活習慣の改善を心掛けましょう。

アクション
2

(三大死因に対する診療機能の向上)

がん診療、救急医療分野での高度・専門医療機関を整備・充実することなどにより、三大死因(がん、心疾患、脳血管疾患)に対する診療機能の向上を図ります。

県民の皆様へ

- ・がんなどの生活習慣病の早期発見・治療のため、定期的に検診を受診しましょう。

アクション
3

(心の健康支援策の充実)

うつ病などの早期発見・早期治療を行う医療連携体制の充実などにより、心の健康の保持・増進を推進し、自殺者の減少を図ります。

県民の皆様へ

- ・自分の心の健康状態に気を配り、自分にあったストレスの対処方法を身につけましょう。
- ・心の不調を感じた時は、一人で悩まず早めに周囲の人や長野県精神保健福祉センターなどの相談機関に相談しましょう。
- ・身近な人の小さな変化に気付いて声をかけ、悩みを聞き、温かく見守りましょう。

第4編 プロジェクトによる施策の推進

4 健康づくり・医療充実プロジェクト

～「安心」して暮らすための健康づくりと医療の充実～

アクション
4

(地域医療体制の強化)

できる限り身近なところで医療を受けることができるよう地域における医療体制を強化するとともに、医療と介護との連携により、高齢者が安心して住み慣れた地域で生活できる環境を整えます。

県民の皆様へ

・高齢者などの支援の必要な方々が、住み慣れた場所で安心して生活できるよう地域全体で支えていきましょう。

【達成目標】

平均寿命(男性・女性) 延伸(H29年)

健康寿命(男性・女性) 延伸、平均寿命との差の縮小(H29年)

自ら健康づくりに取り組んでいる人の割合 (調査結果を踏まえ検討)

自殺者数 430人以下(H29年)

第4編 プロジェクトによる施策の推進

5 雇用・社会参加促進プロジェクト

～「満ち足りた」暮らしのための雇用と社会参加の促進～

県民誰もが持てる能力を最大限に活かすことのできる雇用環境や社会参加の仕組みの整備に加え、それぞれの生活スタイルに合った多様な働き方が実現できる社会をめざします。

アクション
1

(女性の雇用と社会参加の促進)

企業・地域社会の意識改革や子育て支援策の推進、女性の就業継続や再就職に対する支援などに取り組み、女性の雇用と社会参加を促進します。

県民の皆様へ

・男性の方々も、家事・育児・介護などに主体的に参画して、女性が仕事と家庭生活を両立できる環境づくりに積極的に協力しましょう。
・企業等の皆様には、女性の積極的な登用や女性が働き続けることができるような勤務制度の充実、男女ともに子育てや介護に携わることができる労働環境づくりをお願いします。

アクション
2

(若い世代の雇用と自立の促進)

ニートやひきこもりなど支援が必要な若者も含め、若い世代の雇用と自立を促進します。

県民の皆様へ

・就職などで社会に出る際の不安や悩みをお持ちの方が近くにいる場合は、若者を支援しているNPO、ジョブカフェ信州などに気軽に相談するよう伝えてください。
・企業等の皆様には、若い世代が夢と希望を持って働くことができるよう積極的な採用をお願いします。また、インターンシップなど若者が労働に関心を持つことができる取組への協力をお願いします。

アクション
3

(人生二毛作社会の仕組みづくり)

シニア・シルバー世代が、その培ってきた知識と経験を活かして、積極的に就業や社会参加を行うことができる「人生二毛作」社会実現のための仕組みをつくります。

県民の皆様へ

・リタイアされたシニア・シルバー世代の皆様も、その豊かな知識や経験などを、社会や産業に積極的に活かしてください。
・企業等の皆様には、経験豊かなシニア・シルバー世代の積極的な活用をお願いします。

第4編 プロジェクトによる施策の推進

5 雇用・社会参加促進プロジェクト

～「満ち足りた」暮らしのための雇用と社会参加の促進～

アクション
4

(障害者の社会参加と雇用促進)

障害を理解し、障害者を応援する社会づくりや障害者が能力を発揮できる環境づくりを進め、障害者の社会参加と雇用を促進します。

県民の皆様へ

・様々な障害の特性を正しく理解し、障害者への気配りや手助けを積極的に行いましょう。
・企業等の皆様には、障害者の就労に対する理解を更に深めていただき、法定雇用率の達成をお願いします。また、法定雇用率の対象とならない企業等の皆様も、障害者の積極的な雇用をお願いします。

アクション
5

(多様で安心できる働き方の検討)

誰もが自らの価値観を尊重し仕事と生活との両立が可能な社会をめざすため、多様で安心できる働き方について検討します。

県民の皆様へ

・企業等の皆様には、全ての人が働きやすいと感じる環境づくりをお願いします。

【達成目標】

就業率 全国第1位 (H29年)

自分の能力が仕事や公共的活動で発揮できていると思う人の割合 (調査結果を踏まえ検討)

県内高校生・大学生の就職内定率 高校生100% 大学生95% (H29年度)

障害者就職率 55.0% (H29年度)

第4編 プロジェクトによる施策の推進

6 誇りある暮らし実現プロジェクト

～ 景観・自然・文化に囲まれた「誇り」ある暮らしの実現～

美しい景観や自然、文化を保全・創造するとともに、地域の魅力を活かした豊かなライフスタイルの充実等による農山村の活性化を図り、信州人としての誇りを持って暮らすことができる地域をめざします。

アクション
1

(農山村の活性化支援)

伝統文化の継承や農山村ならではのライフスタイルの提案、地域に活力を与える多彩な人材の誘致など、市町村と住民が一緒になった「信州の宝」である美しい農山村の活性化を支援します。

県民の皆様へ

・一人ひとりが地域の活動に参加するなど、愛着と誇りを持って、将来にわたって住み続けることができる地域づくりに一緒に取り組みましょう。

アクション
2

(地域づくり人材の確保・育成)

「人の力」でふるさとを守るため、移住・交流を推進するとともに、地域づくりに取り組む人材の確保やリーダーの育成を推進します。

県民の皆様へ

・地域を元気にする取組を積極的に考え、行動しましょう。
・他地域から訪問、移住する皆様に地域の良さや暮らし、文化などを積極的に伝えましょう。

アクション
3

(美しい景観の維持創造)

豊かな自然や農山村の営みなどにより形成されている美しい景観の価値を維持・創造する取組を進めます。

県民の皆様へ

・景観が地域の自然や歴史、文化、風土等により育まれ、受け継がれてきた背景を理解し、地域の景観に誇りを持ちましょう。
・良好な景観を育成するため、植栽や清掃・美化活動などの身近な取組を行いましょう。

第4編 プロジェクトによる施策の推進

6 誇りある暮らし実現プロジェクト

～ 景観・自然・文化に囲まれた「誇り」ある暮らしの実現～

アクション
4

(身近な自然環境の保全創造)

多くの人々が豊かな自然とふれあうことができる身近な自然環境を保全・創造します。

県民の皆様へ

・身近にあるすばらしい自然に目を向け森林浴やハイキングなどを楽しむとともに、豊かな自然環境を守り育てる取組に協力しましょう。

・企業や団体の皆様は、森林(もり)の里親になるなど身近な里山の整備に協力してください。

アクション
5

(個性際立つ文化芸術の振興)

本県に数多く存在する個性際立つ文化芸術・文化財の継承と振興を進めます。

県民の皆様へ

・県内に数多くある美術館・博物館や文化会館を訪れるなど、文化芸術にふれる機会を多く持つとともに、伝統文化の継承活動に協力しましょう。

【達成目標】

行政サポートによる移住者数 1,000人 (H29年度)

都市農村交流人口 600,000人 (H29年度)

自分の暮らしている地域に誇りを感じる人の割合 (調査結果を踏まえ検討)

文化芸術活動に参加した人の割合 (調査結果を踏まえ検討)

第4編 プロジェクトによる施策の推進

7 活動人口増加プロジェクト

～ 信州を元気にする「活動人口」の増加～

活力ある長野県とするため、少子化による人口の自然減を食い止め、社会増につながる移住・交流を促進することに加え、様々な社会活動を活発化させることにより、活動人口の増加をめざします。

アクション
1

(結婚しやすい環境づくり)

未婚者の出会いの機会の拡大や結婚生活を支える若者の雇用の安定化など結婚しやすい環境づくりに取り組みます。

県民の皆様へ

- ・地域や企業等で若者の結婚支援を積極的に行いましょう。
- ・企業等の皆様は、若い世代が夢と希望を持って働くことができるよう積極的な採用をお願いします。

アクション
2

(子育てを支える環境づくり)

仕事と家庭の両立支援に向けた取組などにより、1人目はもとより、2人目、3人目の子育てもしっかり支える環境づくりを進めます。

県民の皆様へ

- ・誰もが安心して子どもを生み育てられるよう子育て世帯を支えましょう。
- ・企業の皆様は、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりへの取組をお願いします。

アクション
3

(移住・交流推進施策の積極的な展開)

三大都市圏をはじめとした移住希望者に対する総合的・横断的な移住・交流推進施策を積極的に展開します。

県民の皆様へ

- ・暮らしの案内や空き家・農地の活用のお手伝いなどにより、移住者を地域全体で温かく迎え入れましょう。

第4編 プロジェクトによる施策の推進

7 活動人口増加プロジェクト

～ 信州を元気にする「活動人口」の増加～

アクション
4

(公共的活動の支援と協働の積極的推進)

NPO等多様な民間の主体が行う公共的活動を支援するとともに、様々な主体との協働を積極的に進めます。

県民の皆様へ

- ・地域の活動、公共的な活動に積極的に参加しましょう。
- ・地域課題の解決や豊かで暮らしやすい社会づくりのために、皆様一人ひとりが協働の担い手となって、県と一緒に取り組んでください。

【達成目標】

- 県の推計値を上回る出生数 600人(H29年度)
- 行政サポートによる移住者数 1,000人(H29年度)
- 公共的活動への参加度 (調査結果を踏まえ検討)

第4編 プロジェクトによる施策の推進

8 教育再生プロジェクト

～ 良き人生を築き社会に貢献できる人材の育成～

子どもたち一人ひとりが本来持っている力を伸ばしながら、必要とされる学力や体力を身に付けるとともに、社会の中で自立することができる力を養い、良き人生を築き社会に貢献できる人材として育つ教育県をめざします。

アクション
1

(学力・体力の向上と多様な学習機会の提供)

子どもたちの学力や体力を向上させるとともに、一人ひとりの個性に合った多様な学習機会を提供します。

県民の皆様へ

- ・子どもたちの多様な個性や能力を大切にしながら、子どもたちをしっかりと見守り、支えていきましょう。
- ・人口減少等に対応した新しい学校づくりについて一緒に考えていきましょう。

アクション
2

(地域に開かれた信頼される学校づくり)

コミュニティスクールなど、家庭や地域が小・中学校を支える仕組みを構築し、地域に開かれ信頼される学校づくりを進めます。

県民の皆様へ

- ・保護者はもとより地域住民の皆様は、学校運営に積極的な支援をお願いします。

アクション
3

(農林業体験など体験活動の推進)

子どもたちの社会性や自主性を育むため、小・中・高等学校で農林業体験、福祉体験、就業体験など様々な体験活動を推進します。

県民の皆様へ

- ・社会体験・職業体験への協力など、学校と連携して子どもたちの体験を通じた学びを支援しましょう。

アクション
4

(情報活用能力、英語コミュニケーション能力の向上)

時代の変化に対応できる人材を育成するため、子どもたちの情報活用能力や英語コミュニケーション能力の向上に取り組みます。

県民の皆様へ

- ・ICT教育や英会話などの専門的な能力を持っている方は、学習ボランティアなどで児童生徒の学びの支援をお願いします。

第4編 プロジェクトによる施策の推進

8 教育再生プロジェクト

～ 良き人生を築き社会に貢献できる人材の育成～

アクション
5

(高等教育全体の振興)

地域社会の発展に貢献できる有為な人材を育成するため、県内の高等教育全体の振興を図るとともに、県立4年制大学を設置します。

県民の皆様へ

- ・県内高等教育関係者の皆様は、長野県の未来を担う人材育成に連携して取り組みましょう。
- ・経済界の皆様は、インターンシップの受入れや大学との対話促進など高等教育機関との連携をお願いします。

アクション
6

(生涯にわたる学びの環境整備)

生涯にわたる学びや学び直しができる環境整備を進めます。

県民の皆様へ

- ・生涯にわたって様々な人々と関わりながら学びつづけるとともに、学びの成果を地域や社会に活かしましょう。

【達成目標】

学校満足度 小学校92.0%、中学校90.0%、高等学校(調査結果を踏まえ検討)(H29年度)

全国学力・学習状況調査

・基礎的・基本的な内容を5割以上理解している児童生徒の割合

小学校91.0%、中学校73.0%(H29年度)

・「学習したことを実生活の場面に活用する力」が全国平均より高い児童生徒の割合

小学校60.0%、中学校56.0%(H29年度)

全国体力・運動能力、運動習慣等調査での体力合計点(全国順位) 10位台(H29年度)

信州型コミュニティスクールの実施割合(小・中学校) 100%(H29年度)

就業体験活動を実施した生徒数の割合(高校生) 100%(H29年度)

英語コミュニケーション能力水準

英語検定3級レベル(中学生)40%、英語検定準2級レベル(高校生)40%(H29年度)

第4編 プロジェクトによる施策の推進

9 信州ブランド確立プロジェクト

～ 県民総参加による「信州」の誇りある発信と新たな「価値」の創造～

都道府県レベルでは日本初の県民の総力を結集した総合的ブランド戦略の推進により、信州ブランドが幅広く認知されることをめざします。

アクション
1

(信州ブランドの普及・拡大)

信州ブランドコンセプトやキャッチフレーズを県内外に統一感を持って発信し、信州ブランドの普及・拡大を図ります。

県民の皆様へ

・提供する商品や物産、サービスに込めた「想い」やストーリーを私たちの信州ブランドとして、誇りを持って主張しましょう。

アクション
2

(商品や物産、サービスの新たな価値の創造・発信)

信州ブランドに相応しい商品や物産、サービスを提供する仕組みを構築するとともに、継続的に信州のブランド力を高め、人々の期待を上回る新たな価値を創造・発信します。

県民の皆様へ

・様々な産業や地域づくりに携わる皆様は、信州に寄せられる期待に応えられるよう、質の高い商品や物産、サービスの提供や開発に努めてください。

【達成目標】

信州ブランドの県民認知度 80% (H29年度)

都道府県別地域ブランドランキング 10位以内 (H29年度)

第5編 施策の総合的展開

私たちがめざす「未来の信州の姿」に向けて、5年間に県民と一緒にになって取り組んでいく**全ての施策**

施策の分野

1 産業・雇用

2 地域づくり

3 環境

4 安全

5 社会基盤

6 健康・福祉

7 教育・子育て

到達点を明らかにし、**県民と目標を共有**しながら
着実に推進

(数値を用いた指標など)

第5編 施策の総合的展開

第1章 産業・雇用

	施策	主な達成目標
1	信州をけん引するものづくり産業の振興	製造業の付加価値額、企業誘致件数
2	強みを活かした観光の振興	観光地利用者数、観光消費額、旅行者満足度、外国人宿泊者数
3	夢に挑戦する農業	農業農村総生産額、企業的農業経営体等の数、耕地面積、遊休農地の再生・活用面積、おいしい信州フード(風土)の県民認知度
4	森林を活かす力強い林業・木材産業づくり	民有林の間伐面積、素材生産量、県産材の製材品出荷量、森林の里親契約数、ニホンジカによる農林業被害の減少市町村の割合
5	地域の暮らしを支える産業の振興	創業支援資金利用数、建設現場などの現場見学会等の参加者数
6	職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり	就業率、県内高校生・大学生の就職内定率、ジョブカフェ信州利用者の就職率、障害者法定雇用率の達成企業の割合、社員の子育て応援宣言！登録企業数

第2章 地域づくり

	施策	主な達成目標
1	魅力ある地域の創造と発信	健全化判断比率が早期健全化基準を下回る市町村数、地域おこし協力隊員の数、都市農村交流人口、景観行政団体市町村数、行政サポートによる移住者数、信州ブランドの県民認知度、都道府県別地域ブランドランキング
2	協働、人権尊重、男女共同参画社会の実現	公共的活動への参加度、人権侵犯事件の新規受理件数、県の審議会等での女性委員の割合、民間企業の課長相当職以上に占める女性の割合、行政と連携して地域で助け合い活動等を行う外国籍県民の団体数

第5編 施策の総合的展開

第3章 環境

	施策	主な達成目標
1	低炭素で循環型の地域社会づくり	県内の温室効果ガス排出量(平成2年度(1990年度)比)、発電設備容量でみるエネルギー自給率、1人1日当たり一般廃棄物排出量、産業廃棄物総排出量
2	豊かな自然環境の保全	水質の環境基準達成率(河川、湖沼)、希少野生動植物の保護回復事業計画策定種数

第4章 安全

	施策	主な達成目標
1	地域防災力の向上	消防団協力事業所表示制度の認定事業所数、自主防災組織率、地域特性に配慮した防災訓練実施市町村数、浸水被害発生のおそれの高い河川での浸水想定家屋数、災害時要援護者関連施設の土砂災害対策着手数、住宅の耐震化率 等
2	県民生活の安全確保	犯罪(刑法犯)の発生件数、重要犯罪検挙率、交通事故死傷者数、市町村消費生活センターの人口カバー率、食中毒発生件数、薬事法監視実施率

第5章 社会基盤

	施策	主な達成目標
1	高速交通・情報通信ネットワークの充実	県内高規格幹線道路の供用延長、信州まつもと空港利用者数、超高速ブロードバンドサービスが利用可能な世帯割合、電子申請利用件数
2	快適で暮らしやすいまちづくり	公共交通機関利用者数、鉄道の営業キロ数、国・県道の改良率、通学路安全対策着手率、用途地域内都市計画道路整備率、市街地整備面積、長期優良住宅の認定を受けた新築住宅の割合

第5編 施策の総合的展開

第6章 健康・福祉

	施策	主な達成目標
1	健康で長生きできる地域づくり	平均寿命、健康寿命、自ら健康づくりに取り組んでいる人の割合、メタボリックシンドロームが強く疑われる者・予備群の割合、1人1日当たりの食塩摂取量、公共の場の受動喫煙防止対策実施率、自殺者数、要支援・要介護状態になる可能性のある高齢者の割合、人口10万人当たり医療従事者数、在宅での看取り(死亡)割合 等
2	いきいきと安心して暮らせる社会づくり	高齢者福祉施設の入所定員数、地域包括ケア体制整備に取り組む日常生活圏域数、障害福祉施設入所者の地域生活への移行数、障害者就職率、介護福祉士登録者数、ボランティア活動リーダー養成講座修了者数 等

第7章 教育・子育て

	施策	主な達成目標
1	子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実	「授業がよく分かる」と答える児童生徒の割合、基礎的・基本的な内容を5割以上理解している児童生徒の割合、「学習したことを実生活の場面に活用する力」が全国平均より高い児童生徒の割合、学力実態調査での基礎学力定着度、全国体力・運動能力、運動習慣等調査での体力合計点、学校満足度、小・中学校での不登校児童生徒在籍率 等
2	子育て先進県の実現	県の推計値を上回る出生数、合計特殊出生率、周産期死亡率、放課後子どもプラン(児童クラブ・子ども教室)登録児童数、病児・病後児保育を実施している市町村数、里親等委託率
3	生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり	公民館での学級・講座参加者数、文化芸術活動に参加した人の割合、県立文化施設の利用者数、国・県指定等文化財の件数、運動・スポーツ実施率、国民体育大会天皇杯順位

第6編 各地域がめざす方向とその方策

10の広域圏ごとに、地域の個性・魅力を活かしためざす方向や方策を明らかにしました。

佐久地域

輝く個性と地域の力
交流で未来を拓(ひら)く 信州佐久

木曽地域

明日に向けた連携と交流
持続可能な 水と緑のふるさとを

上小地域

熱い歴史と豊かな自然・文化で紡ぐ
新たな価値の創造と誇りある地域づくり

松本地域

人が集う 自然と文化に囲まれた
魅力あふれるふるさと

諏訪地域

未来へつながる先進技術
活力あふれる自然と伝統の地域づくり

大北地域

豊かな水と緑が育む
“活力あふれる北アルプスの里”

上伊那地域

二つのアルプスに抱かれて
紡ぐ文化と産業 息づくいのちとくらし

長野地域

広がる交流 つながる世界
未来へ伸びゆく郷土「長野」

飯伊地域

創りたい 新たな時代
伝えよう 支えあう力 生き続ける文化

北信地域

住みたい 行きたい
新たな「ふるさと北信州」

第7編 計画を推進するための基本姿勢

この計画を着実に推進するために県政に取り組む基本姿勢

1 行政・財政改革の推進

県民参加と協働により地域の課題を解決する県政の強化

- ・県民とともに課題解決に取り組むための「より開かれた県政」の推進
- ・高度な知識と理論に裏打ちされた「政策力」を持った職員の育成
- ・成果をあげることにこだわった「練りこまれた政策」の形成
- ・多様な主体との協働による「独りよがりでない」政策の推進
- ・ICTによる業務改善の推進

行政・財政改革方針に基づく質の高いサービスの提供

2 市町村との協働

計画に基づく施策を効果的かつ効率的に推進するため、県と市町村が課題を共有し、解決に向けた取組を実施

広域的な取組を推進することで県民サービスの向上が期待される事務について、市町村との協働を一層強化

3 政策評価・事業点検による 実効性の確保

計画に掲げた数値目標の実績値の推移等を確認することにより計画の進捗状況を把握

事務事業については、毎年度成果目標を設定し、達成状況を把握

進捗状況を県民に公表し、計画の実現に向けて施策などを改善

4 計画の見直し

社会経済情勢に計画策定時の想定を大きく超える変化が生じた場合、必要に応じて計画を見直し

策定経過

1 長野県総合計画審議会

(会長 山沢清人 信州大学学長、委員:15人(会長含む。)、専門委員:5人)

平成23年1月の諮問以降、審議会9回、専門委員会議10回の審議を経て、平成24年11月に答申をいただきました。

2 県民意見の聴取

多くの県民の皆様、市町村・各種団体などから、幅広いご意見・ご提言をいただきました。

(1) 若者との意見交換会

- ・大学生(平成23年8月~11月、74人参加)
- ・高校生(平成23年10月、67人参加)

(2) 首都圏のお住まいの方との意見交換会

- 長野県での就農を考えている方との意見交換
(平成23年10月、12人参加)

(3) 市町村等交流職員との意見交換会

- 市町村等から県に派遣されている交流職員との意見交換
(平成23年10月、16人参加)

(4) 地域懇談会

- 地域で活躍する方との意見交換を県下10地域で開催
(平成23年12月~平成24年5月、194人参加)

(5) 事業仕分け県民判定人との意見交換会

- 信州型事業仕分けで県民判定人を務められた方と知事との意見交換(平成24年1月、29人参加)

(6) 県政タウンミーティング

- 県民の皆さんと知事との意見交換会を4回開催
(平成24年4月~7月、281人参加)

(7) 知事と市町村長との意見交換会

- (平成24年5月、10地域で実施)

(8) 団体との懇談会

- 県全域を活動範囲とする各分野の主な団体と知事との懇談会(平成24年8月、24団体参加)

(9) 県民意見募集

- ・電子メール、はがき等で意見・提言を受付
(平成23年1月~平成24年12月)

(10) パブリックコメント

- 総合計画審議会として県民意見募集を4回実施

(11) 県政モニターアンケート調査

- ・県政モニター(1,232人)にアンケートを実施
(平成24年7月~8月)

(12) 職員提案

- ・職員からの提案募集(平成23年2月~3月)
・新規採用職員からの提案募集(平成23、24年)